

せいしよ ふくいんしよ
《聖書》ルカによる福音書1:57-66, 80

せん れい しゃ たん じょう
洗礼者ヨハネの誕生

ふくいんしよ たん
ルカによる福音書には、イエスの誕
じょう か まえ せんれいしゃ
生について書く前に、洗礼者ヨハネの
たんじょう か
誕生のことが書かれています。ザカリ
アはユダヤの祭司でした。その妻のエ
りざべと は年をとっていましたが、子
ども くる
供ができないで苦しんでいました。で
も、子どもができないということで軽蔑
されていたエリザベトに、神の使いに
よりなぐさめの予告が告げられます。

しかし、ザカリアはその言葉を信じ
なかつたので、口がきけなくなってい
ました。洗礼者ヨハネの誕生物語の中
で、ザカリアは聖霊に満たされ次ぎの
ように預言しています。

「これは我らの神の憐れみの心によ
る。この憐れみによって、高い所から
あけぼのの光が我らを訪れ、暗闇と死
の陰に座している者たちを照らし、我
らの歩みを平和に導く。」(1:78, 79)

ひかり
光

せんれいしゃ たんじょう よる
洗礼者ヨハネの誕生は、夜がすぎて

よ あ く くらやみ なか す
夜明けが来るように、暗闇の中に住ん

ひとびと ひかり
でいる人々に光をもたらしました。ユ

しゃかい こども う
ダヤの社会では、子供がたくさん産ま

かみ しゅくふく
れることは、神の祝福のしるしとされ

ていました。だから、子供を産むこと

ひと ひと
のできない人はのろわれた人とみなさ

ていました。年をとったザカリアに

しても、エリザベトの苦しみをやわら

げることはできなかったのです。

ちから ひと あつぱく ひと
力のない人や、圧迫されている人に

かみ すく ひかり
とって、神が救いの光であることをこ

ものがたり つよ うった ひかり
の物語は強く訴えています。「光」は、

すく かんが とき いちばん
救いについて考える時、一番わかりや

いちにちじゅう ひかり て
すいしるしです。一日中いつも光に照

らされているわけではなく、光のない

よる じかん
夜もあります。しかし、時間がたてば、

かならよ あ わたし しん
必ず夜が明けることを私たちは信じて

います。

がつ か せんれいしゃせい たんじょう さい
6月24日洗礼者聖ヨハネの誕生の祭

じつ たきの
日(瀧野)